

<参考資料>

1 中部公設試験研究機関研究者表彰

(公財) 中部科学技術センターでは、中部地域(愛知、岐阜、三重、静岡、長野、富山、石川、福井)の公設試験研究機関に所属する研究者を対象として、創造的研究活動の意欲高揚を図り、地域産業の発展に寄与することを目的として、顕著な研究功績のあった研究功績者と、永年にわたり地域の技術指導者として功績の大きかった指導功労者を対象に、毎年表彰を行っている。

令和2年度：10名受賞	令和元年度：7名受賞	平成30年度：9名受賞
平成29年度：9名受賞	平成28年度：8名受賞	平成27年度：8名受賞
平成26年度：6名受賞	平成25年度：7名受賞	平成24年度：8名受賞

<参考：(公財) 中部科学技術センター 中部公設試験研究機関研究者表彰

http://www.cstc.or.jp/business/cstc_kousetsu_hyosho.php>

2 令和2年度 中部公設試験研究機関研究者表彰式について

日時：令和2年9月25日(金) 11:10～12:00

内容：表彰式、受賞講演(リモート方式)



3 県工業技術センターの受賞者

中部科学技術センター会長賞 [指導功績者]

福井県工業技術センター

化学・繊維部 部長 吉田 勝紀(よしだ まさき)

(業績の名称)「コンピュータ技術を活用した繊維産業業界の生産工程合理化支援とニット技術者の育成」

指導功績概要：

本県の繊維産業の高度化、省力化を図るために、メカトロニクス技術とプログラミング技術により、繊維機械にセンサーやモータを取り付け、織機の自動化や様々な機構部の動作特性解析など、繊維関連機械のインテリジェント化技術開発に取り組み、その研究成果の技術移転、技術指導等の技術支援を実施してきた。特に製織準備工程における箆(おさ)通し作業の自動化や、ニット企業向けの編み上がりシミュレーションのシステム開発は、多くの繊維関連企業の省力化向上に寄与してきた。

また、企業の人材育成、特にニット技術者の養成に力を注ぎ、工業技術センター内の個別研修をはじめ、福井県中小企業産業大学校や福井県ニット工業組合が実施する研修におけるニット技術の講師を務めた。さらに、経編技術者の技術力向上や地位向上を目的に、福井県ニット工業組合と協力してこれまで無かった経編に関する技能検定試験を新たに創設するとともに、この制度の普及に尽力した。